

EXS1シリーズ

スラスト自動調心ころ軸受



特長

高負荷容量・長寿命

- 大径ころを採用した世界最大クラスの高負荷容量
- 高纯净度鋼を採用し、軌道ところ転動面の曲率を最適化して、長寿命化を実現

低昇温・許容回転速度アップ

- 最適な形状と特殊表面処理を採用した保持器で、摺動抵抗を大きく低減
- ころ端面粗さを小さくして回転抵抗を低減
- 低昇温化により、許容回転速度が30%向上（当社従来品比）

耐熱性

- 熱安定化処理を標準採用し、200℃環境に対応

スラスト自動調心ころ軸受は、射出成形機、ポンプ、船舶のスクリューなど大きなアキシャル荷重を受ける部位で使用されています。とくに射出成形機においては、駆動部の電動化に伴って、消費電力の削減、環境負荷低減やメンテナンスフリー化が求められているほか、近年では生産性向上のため高速化への要求も高まっています。

スラスト自動調心ころ軸受EXS1シリーズは、EXシリーズに比べ、長寿命化と許容回転数の更なる向上に成功し、射出成形機の高速化に対応しました。

最適な形状と特殊表面処理を採用した保持器の開発に加え、ころ端面の粗さを小さくしたことで、回転時の抵抗を大幅に低減。回転時のころの挙動を安定させ、摺動面へのグリース供給を円滑にすることで温度の上昇を抑えて、当社従来品比30%増の世界最高クラスの許容回転数を可能にしました。また、グリース潤滑ではオイル供給装置などが不要になったことで、環境やメンテナンスフリー化に対応しています。最適な軌道ところ転動面の設計により、接触面応力を均一化し、当社従来品比2倍の長寿命化を実現したほか、200℃環境に対応した熱安定化処理を全サイズに標準採用し、耐熱性にも優れています。

不二越は、今後も変化するニーズに対応した軸受を開発し、産業機械の発展に貢献していきます。

関連リンク

[EXS1シリーズ 製品ページ](#)

低昇温化を実現（温度上昇試験）

